総合技術研究会 2025（ポスター発表）

山口大学における Google Workspace の導入について

福井 陽介, 漆谷 雄太, 藤井 勲, 山下 哲生

情報技術課

1　はじめに

2025 年 3 月 5 日から 7 日にかけて, 筑波大学筑波キャンパスにおいて開催された総合技術研究会 2025 でポスター発表を行った.

2　ポスター発表内容

山口大学では, メールサービス, 教職員ポータル, ストレージサービスなど, 各種サービスを学内のオンプレミスサーバーにて運用していたが, サーバーの老朽化に伴う予期せぬ故障やパフォーマンスの低下及びセキュリティリスクの増大などの様々な問題によりクラウド環境への各種サービスの移行を計画し, Google Workspace を導入した. しかし, Google Workspace は今までの内製システムのような柔軟性は無いため, 既存サービスの移行は容易ではなかった. 今回の発表では, それらのサービス移行に伴う問題の解決事例についてポスター発表を実施した.

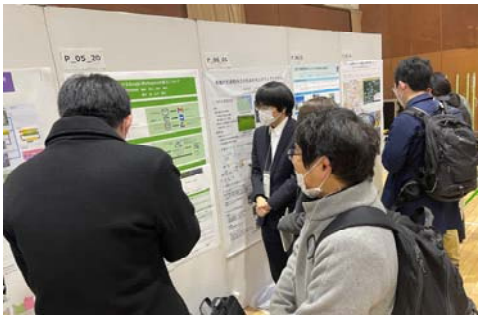

図 1. 発表の様子

大きな問題の一つとして, 共有アカウント運用が挙げられる. Google ではアカウントの共有を原則禁止しているため, 複数の職員が一つのメールアドレスを共用できない. この問題に対し, Google グループと Gmail の委任設定を活用することで対応した. 具体的には, Google グループでは係メールを受け取るグループを作成し, Gmail では Google グループのメールに対して委任設定を適用することで, 各職員の個人アカウントで Gmail にログインしたまま, 代理アカウントを通じて共有メールの送受信が可能となった.

他の問題として, サービス移行に伴い既存サービスとの連携の問題や, Google Workspace 運用上の新たな課題の発生, 管理者側の業務量の増大といった問題が発生した. それらの対策として, Google Apps Script を中心としたシステム開発で対応した. Google Apps Script の利用により, 学内でのシステム開発と比較して Google サービスとの連携が容易であったり, オンライン上で運用・編集が可能であったり, 共有・管理設定が容易であったりという利点がある.

Google Workspace の運用を行っていく中で今後新たな問題が発生する可能性があるが, 引き続きその解決に取り組んでいく.

3　おわりに

これまで参加した研究会では聴講のみだったが, 今回は初めて発表者として参加した. 発表用ポスターを制作する過程で, 取り組んできた業務を振り返ることができ, Google Workspace への理解が一層深まった. ポスター発表では, 今後導入を検討している方や, すでに数年間運用している方など, さまざまな立場の方々と意見交換ができ, 今後直面する可能性のある課題も知ることができた. また, 他の発表者のポスター発表を通して, 各機関で多様な取り組みが行われていることを知り, 疑問点や関心のある内容について意見交換する中で, 情報・ネットワーク技術に関する知見を広げることができた. 今後は, 得られた知見を日々の業務に活かしていきたいと考えている.